

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	7,070	6.5	19	△82.9	242	2.0	156	△2.2
2022年3月期	6,638	3.4	115	△56.4	237	△17.7	159	△6.1

(注) 包括利益 2023年3月期 144百万円 (△9.9%) 2022年3月期 160百万円 (△22.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	37.43	—	7.5	4.2	0.3
2022年3月期	38.27	—	8.1	4.3	1.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	6,073	2,138	35.2	512.11
2022年3月期	5,593	2,035	36.4	487.68

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,135百万円 2022年3月期 2,033百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	449	△708	172	779
2022年3月期	364	△497	72	866

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	41	26.1	2.1
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	41	26.7	2.0
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		41.7	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,676	10.1	△5	—	52	52.7	25	56.4	6.02
通期	7,600	7.5	83	322.1	150	△38.1	100	△35.9	23.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	4,179,000株	2022年3月期	4,179,000株
2023年3月期	9,877株	2022年3月期	9,877株
2023年3月期	4,169,123株	2022年3月期	4,169,123株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	7,042	6.7	178	△16.4	198	△7.8	124	△17.9
2022年3月期	6,602	3.4	213	△17.3	215	△30.3	151	5.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	29.88	—
2022年3月期	36.41	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2023年3月期	5,394		1,952	36.2			468.29	
2022年3月期	4,740		1,881	39.7			451.41	

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,952百万円 2022年3月期 1,881百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	3,666	10.0	54	36.7	23	21.8	5.59	
通期	7,580	7.6	150	△24.4	92	△25.7	22.21	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動が正常化に向かう一方で、ウクライナ情勢の長期化や為替相場の急激な変動による物価の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続きました。食品業界につきましては、原材料、包材、エネルギーなど様々なコストが上昇する中で消費者の節約志向へのシフトが進んでおり、厳しい事業環境となっております。

当社グループにつきましては、冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移したことに加え、製品の値上げ効果もあり、売上高は増加しました。利益面につきましては、売上増や値上げによる増益要因がありましたが、飼料やエネルギー等の値上がりによるコストアップや、ブランド及び成長力の強化に向けての積極的な支出により、営業利益段階では減益となりました。経常利益につきましては、飼料価格の高騰時に備えた、国、飼料メーカー、生産者の積立金を財源とする飼料価格安定基金からの補填金収入（1億65百万円）及び飼料高騰に伴う地方自治体からの補助金収入（47百万円）を営業外収益で計上したことにより増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、70億70百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は19百万円（前年同期比82.9%減）、経常利益は2億42百万円（前年同期比2.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億56百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（生産卸売事業）

生産卸売事業につきましては、主な販売先である生活協同組合において、冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移したことに加え、製品の値上げ効果もあり、売上高は増加しました。利益面につきましては、製品の値上げによる増益要因がありましたが、飼料等の原材料及びエネルギー価格の高騰の影響により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、53億75百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は3億18百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

（直販事業）

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、会員数が引き続き伸長したことに加え、値上げ効果もあり、売上高は増加しました。利益面につきましては、売上高の増加や値上げの効果に加えて、ピッキング等の業務の効率改善により増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、16億95百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は1億8百万円（前年同期比108.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の総資産は、前年同期に比べ4億79百万円増加して60億73百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加（2億74百万円）、仕掛品の増加（1億24百万円）及び売掛金の増加（1億13百万円）等によるものです。

（負債）

負債につきましては、前年同期に比べ3億77百万円増加して39億35百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加（1億12百万円）、長期借入金の増加（1億9百万円）及び、買掛金の増加（93百万円）等によるものです。

（純資産）

純資産につきましては、前年同期に比べ1億2百万円増加して21億38百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（1億14百万円）によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が2億36百万円（前連結会計年度は2億25百万円の純利益）となり、減価償却費（3億92百万円）、長期借入れによる収入（4億円）、短期借入金の純増（2億円）等から、有形固定資産の取得による支出（6億83百万円）、長期借入金の返済による支出（3億77百万円）、棚卸資産増加額（1億21百万円）等を控除した結果、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、7億79百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は4億49百万円（前連結会計年度は3億64百万円の獲得）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益（2億36百万円）、減価償却費（3億92百万円）等から、棚卸資産の増加額（1億21百万円）、売上債権の増加額（1億13百万円）等を控除した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億8百万円(前連結会計年度は4億97百万円の使用)となりました。

これは主として、有形固定資産の売却による収入(8百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(6億83百万円)及び、貸付けによる支出(24百万円)等を控除した結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1億72百万円(前連結会計年度は72百万円の獲得)となりました。

これは主として、長期借入れによる収入(4億円)、短期借入金の純増(2億円)等から、長期借入金の返済による支出(3億77百万円)等を控除した結果によるものであります。

(4) 今後の見通し

コロナ禍は終息局面を迎えましたが、輸入物価の高止まりに加えて、人手不足と人件費上昇の影響が幅広い業種に広がりつつあり、今後さらなる生産コストの上昇とその長期化リスクが高まっています。

当社グループでは、顧客の理解をいただく中で製品の値上げを進めてまいりましたが、当社グループのブランド力と成長力をさらに高めていくことが最大の対策であると認識し、今年3年目となる中期計画に基づき、引き続き様々な課題に積極的に取り組んでまいります。

(中期計画 4つの基本戦略)

- ① F A R M進化戦略～生産、加工、販売などの機能をさらに進化させます。
- ② ファン化戦略～知名度向上と秋川牧園ファンを増やす取り組みを進めます。
- ③ 成長基盤強化戦略～さらなる成長に向けて、人、設備、I Tなどの基盤を強化します。
- ④ S D G s戦略～サステナビリティを重視する価値観の変化を事業の追い風にします。

次期の業績の見通しとしましては、売上高につきましては生産卸売事業、直販事業ともに増収を見込んでおります。利益面につきましては製品の値上げをさらに進めるものの、飼料価格が高止まりする中での飼料価格安定基金からの補填金収入の縮小、給与改定に伴う人件費の増加、直販事業における会員募集費の積極的な投入の影響等により、減益の見込みとなっております。

予想数値は、売上高76億円(当連結会計年度比7.5%増)、経常利益1億50百万円(当連結会計年度比38.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1億円(当連結会計年度比35.9%減)となっております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重視し、かつ、秋川牧園ブランドの確立と中長期的な成長に向けての積極的な投資と堅実な財務体質を両立することを基本方針としております。

当期(2023年3月期)につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当とさせていただきます。また、次期(2024年3月期)につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当を継続させていただきます。予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	866,182	779,750
売掛金	716,237	830,156
商品及び製品	239,628	205,032
仕掛品	239,594	363,942
原材料及び貯蔵品	205,750	240,470
未収入金	96,457	129,470
その他	75,158	84,974
貸倒引当金	△3,058	△2,264
流動資産合計	2,435,950	2,631,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,851,435	3,076,649
減価償却累計額	△1,712,178	△1,806,582
建物及び構築物 (純額)	1,139,256	1,270,066
機械装置及び運搬具	1,885,287	1,967,724
減価償却累計額	△1,438,230	△1,500,386
機械装置及び運搬具 (純額)	447,056	467,338
土地	1,024,727	1,042,166
建設仮勘定	125,476	229,889
その他	356,769	378,086
減価償却累計額	△245,847	△265,498
その他 (純額)	110,921	112,587
有形固定資産合計	2,847,439	3,122,049
無形固定資産		
のれん	12,465	8,816
その他	21,455	18,642
無形固定資産合計	33,920	27,459
投資その他の資産		
投資有価証券	152,738	134,772
長期貸付金	6,575	18,710
繰延税金資産	98,711	107,743
その他	18,185	31,105
投資その他の資産合計	276,210	292,331
固定資産合計	3,157,570	3,441,840
資産合計	5,593,521	6,073,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,329	449,034
短期借入金	1,213,918	1,326,749
リース債務	7,943	7,001
未払法人税等	16,174	55,261
賞与引当金	41,806	42,977
その他	503,531	530,873
流動負債合計	2,138,704	2,411,896
固定負債		
長期借入金	1,035,199	1,145,099
リース債務	16,745	9,488
繰延税金負債	4,737	10,452
退職給付に係る負債	291,933	298,047
役員退職慰労引当金	70,764	60,294
固定負債合計	1,419,379	1,523,382
負債合計	3,558,084	3,935,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	704,041	818,392
自己株式	△5,880	△5,880
株主資本合計	1,965,752	2,080,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,453	54,954
その他の包括利益累計額合計	67,453	54,954
非支配株主持分	2,231	3,034
純資産合計	2,035,437	2,138,092
負債純資産合計	5,593,521	6,073,371

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
売上高	6,638,727	7,070,463
売上原価	4,929,455	5,416,646
売上総利益	1,709,271	1,653,817
販売費及び一般管理費	1,593,593	1,633,978
営業利益	115,677	19,838
営業外収益		
受取利息	184	218
受取配当金	1,315	1,225
受取保険金	—	4,011
補填金収入	117,107	165,580
補助金収入	3,728	47,435
その他	10,321	15,514
営業外収益合計	132,656	233,983
営業外費用		
支払利息	10,931	10,949
その他	32	677
営業外費用合計	10,964	11,627
経常利益	237,370	242,195
特別利益		
固定資産売却益	3,322	1,182
補助金収入	4,373	1,000
受取補償金	52,041	1,948
特別利益合計	59,737	4,131
特別損失		
固定資産売却損	1,183	1,507
固定資産除却損	2,082	2,644
減損損失	2,842	186
固定資産圧縮損	4,299	1,000
鳥インフルエンザによる損失	61,254	4,689
特別損失合計	71,662	10,027
税金等調整前当期純利益	225,445	236,298
法人税、住民税及び事業税	63,268	77,283
法人税等調整額	2,005	2,169
法人税等合計	65,273	79,453
当期純利益	160,171	156,845
非支配株主に帰属する当期純利益	600	803
親会社株主に帰属する当期純利益	159,570	156,042

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
当期純利益	160,171	156,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△12,498
その他の包括利益合計	47	△12,498
包括利益	160,218	144,347
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	159,618	143,543
非支配株主に係る包括利益	600	803

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	714,150	553,441	589,388	△5,880	1,851,099	67,405	67,405	1,630	1,920,136
会計方針の変更による 累積的影響額			△3,226		△3,226				△3,226
会計方針の変更を反映し た当期首残高	714,150	553,441	586,162	△5,880	1,847,873	67,405	67,405	1,630	1,916,909
当期変動額									
剰余金の配当			△41,691		△41,691				△41,691
親会社株主に帰属する 当期純利益			159,570		159,570				159,570
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						47	47	600	648
当期変動額合計	—	—	117,879	—	117,879	47	47	600	118,527
当期末残高	714,150	553,441	704,041	△5,880	1,965,752	67,453	67,453	2,231	2,035,437

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	714,150	553,441	704,041	△5,880	1,965,752	67,453	67,453	2,231	2,035,437
当期変動額									
剰余金の配当			△41,691		△41,691				△41,691
親会社株主に帰属する 当期純利益			156,042		156,042				156,042
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						△12,498	△12,498	803	△11,695
当期変動額合計	—	—	114,351	—	114,351	△12,498	△12,498	803	102,655
当期末残高	714,150	553,441	818,392	△5,880	2,080,103	54,954	54,954	3,034	2,138,092

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	225,445	236,298
減価償却費	384,944	392,744
減損損失	2,842	186
のれん償却額	3,648	3,648
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△331	△794
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,906	1,171
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,237	△10,469
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	16,400	6,113
受取利息及び受取配当金	△1,499	△1,443
支払利息	10,931	10,949
固定資産売却損益（△は益）	△2,139	324
固定資産除却損	2,082	2,644
固定資産圧縮損	4,299	1,000
補助金収入	△4,373	△1,000
受取補償金	△52,041	△1,948
売上債権の増減額（△は増加）	△13,269	△113,919
棚卸資産の増減額（△は増加）	△165,687	△121,963
未収入金の増減額（△は増加）	74,936	△85,053
仕入債務の増減額（△は減少）	△44,276	93,704
その他	72,527	28,056
小計	522,584	440,249
利息及び配当金の受取額	1,499	1,443
利息の支払額	△10,985	△12,222
補助金の受取額	4,373	1,000
補償金の受取額	—	53,990
法人税等の支払額	△153,151	△35,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,319	449,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△497,802	△683,851
有形固定資産の売却による収入	7,107	8,748
有形固定資産の除却による支出	—	△710
出資金の払込による支出	—	△13,000
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
貸付けによる支出	△3,870	△24,460
貸付金の回収による収入	4,058	7,782
ソフトウェアの取得による支出	△6,854	△2,924
その他	112	81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△497,265	△708,350
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	150,000	200,000
長期借入れによる収入	280,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△309,341	△377,269
配当金の支払額	△41,289	△41,624
リース債務の返済による支出	△7,129	△8,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,239	172,907
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△60,706	△86,431
現金及び現金同等物の期首残高	926,888	866,182
現金及び現金同等物の期末残高	866,182	779,750

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「生産卸売事業」と「直販事業」の2つを報告セグメントとしております。

「生産卸売事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵および牛乳等の生産・販売をしております。「直販事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は各セグメントにおける製造原価の状況を勘案し、双方協議に基づいて取引を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	4,996,598	1,642,128	6,638,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	409,673	5,987	415,661
計	5,406,271	1,648,116	7,054,388
セグメント利益	426,238	52,111	478,349
セグメント資産	4,286,096	230,699	4,516,796
その他の項目			
減価償却費	349,730	13,702	363,432
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	458,166	14,090	472,256

当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	5,375,406	1,695,056	7,070,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	467,452	4,402	471,855
計	5,842,859	1,699,459	7,542,318
セグメント利益	318,255	108,559	426,815
セグメント資産	4,583,731	427,691	5,011,422
その他の項目			
減価償却費	358,880	15,878	374,759
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	646,666	8,443	655,110

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,054,388	7,542,318
セグメント間取引消去	△415,661	△471,855
連結財務諸表の売上高	6,638,727	7,070,463

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	478,349	426,815
のれんの償却額	△3,648	△3,648
全社費用（注）	△359,023	△403,328
連結財務諸表の営業利益	115,677	19,838

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,516,796	5,011,422
全社資産（注）	1,076,724	1,061,949
連結財務諸表の資産合計	5,593,521	6,073,371

（注）全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金（現金及び預金他）、長期投資資金（投資有価証券他）及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額（注）		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	363,432	374,759	21,511	17,985	384,944	392,744
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	472,256	655,110	22,143	23,132	494,400	678,243

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに属さない本社の構築物及び工具、器具及び備品等の設備投資額であります。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
1株当たり純資産額	487.68円	512.11円
1株当たり当期純利益	38.27円	37.43円

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	159,570	156,042
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益（千円）	159,570	156,042
普通株式の期中平均株式数（千株）	4,169	4,169

（重要な後発事象）

該当事項はありません。